



絵本でメリークリスマス!



『ぐりとぐらのおきやくさま』

中川季枝子／作 山脇百合子／絵
福音館書店

雪の上にあしあとを見つけたぐりとぐら。あとをつけて行って着いたところは自分たちの家。さて、家の中には誰がいるのでしょうか。(3才～)



『ゆうびんやのくまさん』

フィービとセルビ・ウォージントン／作・絵
福音館書店

はたらきもののゆうびんやのくまさんは、クリスマスの前の日も小包の配達に大忙し。しっかり働いて家に帰り、サンタさんへ飲み物とお菓子を準備して眠ります。(3才～)



『おおきいつリー ちいさいツリー』

ロバート・バリー／作 大日本図書

もうすぐクリスマス。ウィロビーさんのお屋敷に届いたのは、見たことないような大きなツリー。つかえるので、先を切って小間使いに渡しました。小間使いもまた先をちょきん。ツリーはどんどん小さくなって…。(3才～)



『ゆうぐれ』

ユリ・シュルヴィッツ／作 あすなろ書房

クリスマス前のある日、男の子がおじいさんと散歩にでかけます。あたりはだんだん暗くなり、街のイルミネーションが輝きます。美しい風景とクリスマス前のわくわくが伝わってきます。(4才～)



『あのね、サンタの国ではね…』

嘉納純子／作 黒井健／絵 偕成社

サンタクロースって、クリスマスのとき以外は何をしているのかな? 1月は新年のご挨拶、2月は子どもたちからのお礼の手紙を読み、4月には「となかひ学校」へ入学…。サンタの国の1年間が月ごとに描かれています。(4才～)



『サンタクロースのおてつだい』

ロリ・エベルト／文

ペール・ブライハーゲン／写真 ポプラ社

サンタクロースに会いに行こうと決めた女の子オンヤ。真っ白な雪の中出かけていくと、さまざまな動物たちが助けてくれます。写真が美しい絵本です。(4才～)



『さむがりやのサンタ』

レイモンド・ブリッグズ／作福音館書店

「やれやれ、クリスマスか!」この絵本に出てくるサンタさんは、ちょっと気難しくて、寒がり。文句を言いながらプレゼントを配るサンタさんの姿に、思わず笑ってしまいます。(4才～)



『クリスマスの森』

ルイズ・ファティオ／文

ロジャー・デュボアザン／絵 福音館書店

クリスマスの日。森でひとやすみしたサンタさんは、そのまま眠ってしまいます。それを見た森の動物たちは、手分けしてプレゼントを届けることに。(5才～)

